

## ●最近の話題

① 「建設リサイクル法」第11条に基づく通知について	1
② 現場見学会提案・実施モデル工事の試行	2
③ 「建設現場における週休2日の取り組み実現モデル工事」試行(案)	4
④ 工事現場における環境改善 ～快適トイレ～	7
⑤ 一部変更指示時における概算額の明示について	9
⑥ その他(お願い事項)	10



北陸地方整備局

※本資料は、国土交通省、北陸地方整備局が作成した資料等により構成されています。  
また、数値については速報値であるため、今後変更する場合があります。

# ①「建設リサイクル法」第11条に基づく通知について(徹底依頼)

- 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」における対象建設工事については、同法第11条の規定により、通知に係る工事に着手する前までに、工事着手の時期、工程の概要等について都道府県知事等に通知しなければなりません。
- 対象建設工事において通知していない工事は法律違反となりますので「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」の趣旨を十分に理解のうえ対応をお願いします。

## 【対象工事】

- 工事規模が基準値(表1)以上で、かつ特定建設資材(表2)の処分を行う工事
- 工事規模が基準値(表1)以上で、かつ特定建設資材(表2)を使用する工事

表1: 工事規模の基準値

工事の種類	基準値
建築物の解体	床面積の合計 80㎡
建築物の新築・増築	床面積の合計500㎡
建築物の修繕・模様替	請負代金額 1億円
その他(土木工事等)	請負代金額 500万円

表2: 特定建設資材

コンクリート
コンクリート及び鉄から成る建設資材
木材
アスファルト・コンクリート

## 【11条通知の徹底】

### ○建設リサイクル法第11条通知の徹底について(通知)

#### 1. 建設リサイクル法第11条通知完了連絡書の送付

第11条に基づく通知を行った後、発注者は受注者に通知完了連絡書を通知する。受注者は、通知完了連絡書を受領しなければ工事着手できない。

#### 2. チェックリスト及びマニュアルの活用

### ○建設リサイクル法第11条通知に係る運用

#### 1. 特記仕様書に、上記に関する条項を追加する。

## ②現場見学会提案・実施モデル工事の試行

### ◆目的

未来への投資である社会整備事業の必要性等を広く周知  
魅力ある建設産業をPRし、将来の担い手の入職を促進

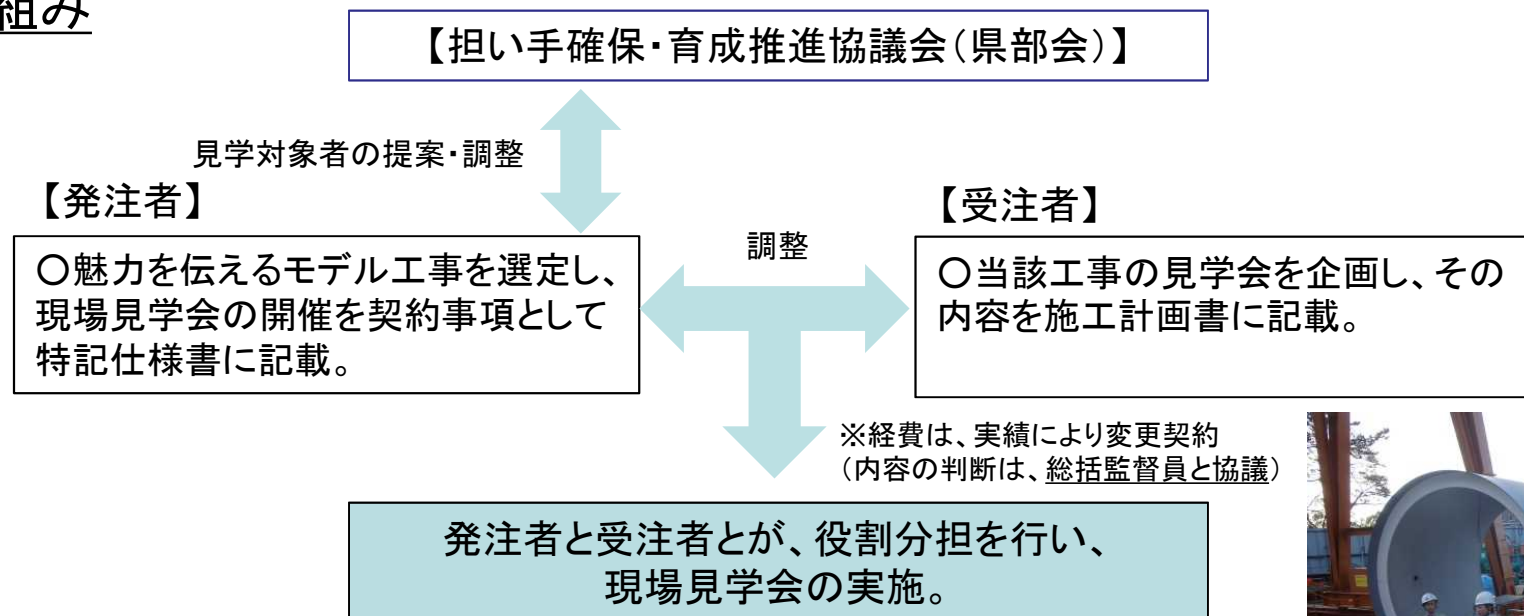
### ◆対象(フェーズ)

担い手協議会  
(部会意見より)



普通科高校・中学校・小学校……………認知・周知 ⇒ 中長期の担い手  
建設系の高等学校、高等専門学校 ……魅力体感 ⇒ 直近の担い手  
建設系の大学等……………魅力深下 ⇒ 直近の担い手

### ◆仕組み



### ◆試行件数

H27: 3件 H28: 8件 H29: 10件程度の予定



(写真)見学会イメージ

## ②現場見学会提案・実施モデル工事の試行

○将来の担い手確保及び建設事業の魅力を深めるために、当該工事内容を通して、地域住民や学生等を対象とした、現場見学会の開催を提案・実施を行うモデル工事を試行。  
(効果的な見学会のノウハウ、課題を検討)

工事名	施工場所	見学会日時	見学会内容	対象
新光町やすらぎ堤その3工事	新潟市新光町	(H28)6月28・29日	信濃川クイズ、液状化実験	上所小学校5年生104人
山島新田地区河道掘削その6工事	加茂市山島新田	(H28)11月14日	ICT情報館、ドローンで記念撮影	加茂小学校4・5年生90人
国道7号大夫興野IC橋(上り)下部工事	聖籠町藤寄	(H29年度予定)		
国道253号八箇IC橋他2橋上部工事	十日町市八箇他	(H29)6月13日	鉄筋結束・高力ボルト締め付け体験	十日町市立南中学校2年生60人
上沼道戸野目古新田跨道橋下部工事	上越市戸野目古新田	(H29)10月2日	建設機械乗車体験、簡易模型を使った説明	上越高校2年生11人
猪谷橋下部その3工事	富山市舟渡	(H29)9月13日	斜め深礎杭見学、ドローンで記念撮影	榆原中学校1・2・3年31人
能越道のと里山空港IC橋下部その1工事	輪島市三井町洲衛	(H28)1月13日	施工者による体験談・建設業のPR	輪島中学校2年生37人
篠井川排水機場設備修繕工事	中野市立ヶ花	(H28)12月3日	排水機場の施設内で役割を説明	中野市民60人

環境に優しい伝統工法の粗朶単床の構造や役割について説明



地震時の液状化を再現した液状化実験を見学



能越道の施工企業の女性技術者による地元中学生への体験談・建設業のPR



ICT情報館～ICT活用工事の情報をわかりやすく展示～を見学



見学会後のアンケート (新光町やすらぎ堤その3工事)

- ・ぼくはやすらぎ堤がただのやすらげる場所だと思っていましたが、じしんからぼくたちを守ってくれていることにびっくりしました。
- ・ぼくたちの知らないところで、こういう人たちが日々がんばっているからこそ大雨がふったときにも大じょうぶなんだと思いました。

見学会後の感想(お礼の手紙) (山島新田地区河道掘削その6工事)

- ・ショベルカーを運転して工事してみたいです。
- ・ドローンが工事現場に使われていたことをはじめて知りました。

見学会後のアンケート (能越道のと里山空港IC橋下部その1工事)

- ・建設の仕事場で働く人々がどのような思いで働いているのか知り、今後の進路相談の際に話す内容になると思いました。
- ・人の役にたてること 女の人でも現場に行っていることに興味を持った。



# ③「建設現場における週休2日の取り組みモデル工事」試行（案）

## ■H29年度の取り組み

注) 発注者指定型は、全国動向等を見て検討

工事工程の受発注者間の共有	週休2日実施支援モデル工事	週休2日実施支援モデル工事 (工程共有強化型)
積算基準等に基づく ※工期算定支援システム活用を原則	積算基準等に基づく ※工期算定支援システム活用を原則	同左
工期の設定根拠を特記仕様書で提示	工期の設定根拠を特記仕様書で提示	同左
<b>施工条件確認部会と工程調整部会の開催を原則化</b> ※ただし、受注者が開催を希望しない場合に限り、未開催を可とする	施工条件確認部会と工程調整部会を開催 ※ <b>モデル工事として希望した場合は開催必須</b> ..... <b>工程共有表(CCS等)に休日計画・実績を明記</b>	同左 ※同左(開催、計画明記) 加えて、 <b>工程調整部会を1回/月以上開催</b>
—	間接費の補正	同左
—	成績評価	同左
全ての工事	対象数	20件程度を試行

クリティカル工程共有表 (CCS) (例) ○○○トンネル舗装工事

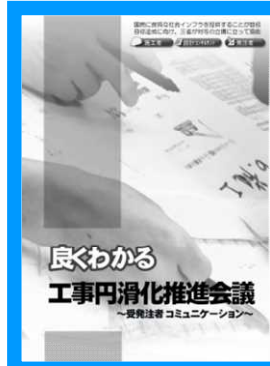
受注者	工種	種目	数量	単位	日当り施工量	実施工日数	所要日数	受注者						
								発注者		(株)◇◇◇建設		当初工期		変更工期
注	準備工	路盤掘削	1	式			40	[Gantt Chart]						
	舗装工	上層路盤 M-40	5,000	m <sup>2</sup>	29.4~7.2層	1,110	5	[Gantt Chart]						
		C O 版 t=250mm 曲4.5-6.5-408B	4,900	m <sup>2</sup>	29.4~7.2層	22	31	[Gantt Chart]						
		すり付版 (7スリット舗装) (上:表層、下:基層)	65	m <sup>2</sup>		2,300	0	2	[Gantt Chart]					
後片付け		1	式			20	[Gantt Chart]							
共用	週休2日(現場閉所)の計画と実績							計画	[Gantt Chart]					
	照会結果検討部会(工事連携会議)							実施	[Gantt Chart]					
	施工条件確認部会							〇/△	[Gantt Chart]					
	工事・事業情報共有部会							—	[Gantt Chart]					
	工程調整部会							〇/△	[Gantt Chart]					
	設計変更検討部会							〇/△	[Gantt Chart]					
発注者	1. 工程に影響を受ける他の工事							[Gantt Chart]						
	2. 関係機関等との協議の結果、工程に影響を受ける内容							[Gantt Chart]						
	その他							[Gantt Chart]						
	その他							[Gantt Chart]						

平成●年●月●日作成

備考
計画欄に、週休2日(4週8休相当)の計画日数計と最低日数計を記載(対応) 計画日数の合計を記載
現場閉所計画日数計〇日(最低日数計〇日) 現場閉所日数計〇日
実施欄に、現場閉所の日数計を記載(対応) 計画日数以上もしくは最低日数以上の現場閉所日数を確保できたかを確認
工事用道路:資材運搬時には要調整 工事用道路:資材運搬時には要調整
工程に見込む作業不能日数 (休日:4.0日、雨天・強風・降雪・波浪:2.2日)

- ### <工程共有表(CCS等)利用のポイント>
- 発注者は「施工条件確認部会」の開催前までに、チェックリスト結果をもとにCCSの発注者部分(関係機関協議の完了時期、余裕工期などの工程に関わる施工条件)を作成する。
  - 工事契約ののち、「施工条件確認部会」において、発注者から受注者へCCSを渡し、受注者は受注者部分を記入し、CCS当初を完成させる。
  - 完成させた当初CCSを受発注者が共有する。
  - 工程調整の必要が生じた場合、CCSを用いて工程調整部会を開催する。

※工程形式は、ネットワーク形式、バーチャート形式を問わない



北陸地方整備局 よくわかる○○シリーズ 検索

※工事に合わせて適宜項目を追加の上、ご活用をお願いします。

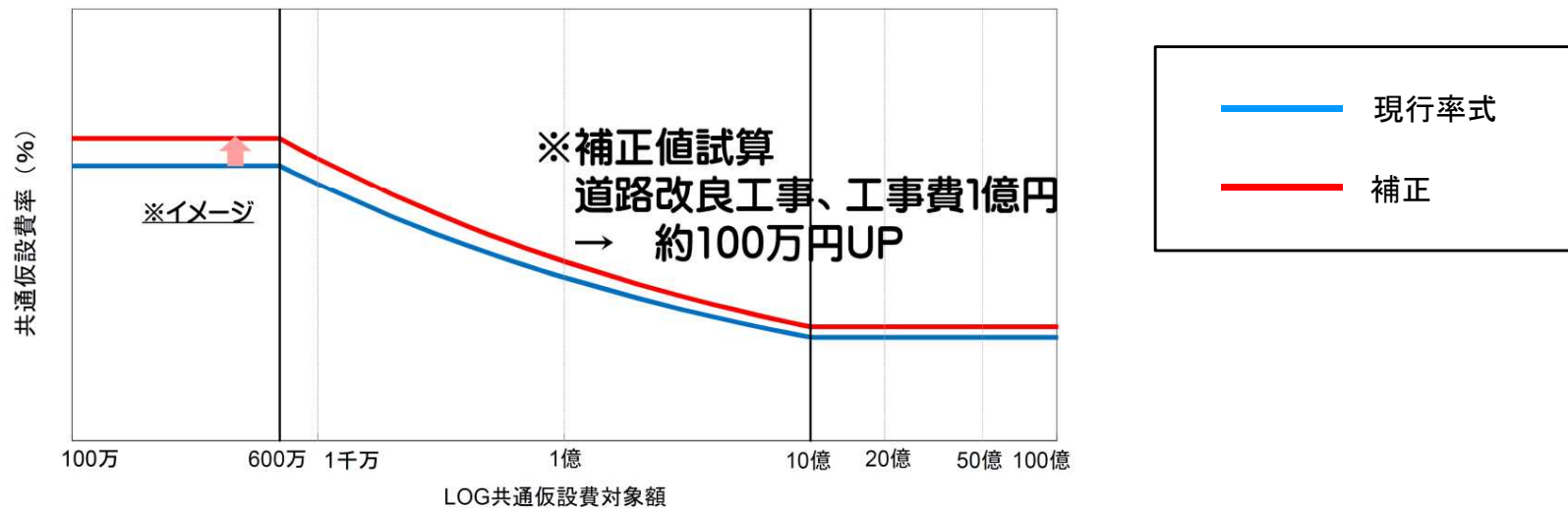
# ③「建設現場における週休2日の取り組みモデル工事」試行（案）

- 週休2日で施工する場合には、現状より工期が長くなり、安全施設類や現場事務所等のリース料の経費が嵩むことになる。
- その為、週休2日を実施した場合は、実施した期間に応じて、工期日数の延長に要する経費として、共通仮設費を1.02倍、現場管理費1.04倍補正する。

## 週休二日を考慮した間接費補正

共通仮設費	現場管理費
<b>1.02倍</b>	<b>1.04倍</b>

### ○共通仮設費率の解析事例



# ③「建設現場における週休2日の取り組みモデル工事」試行（案）

## 工事円滑化推進会議の取り組み状況

平成28年5月から、特記仕様書へ明示することにより、発注者・受注者のどちらかの発議は問わず、会議の開催をしやすい環境を整えた。

（特記仕様書記載例）

部会	取り組み状況
工事設計審査・ 施工条件検討部会	全ての工事を対象
施工条件確認部会	H27～開始 ( <u>H29～全ての工事を対象</u> )
工程調整部会	H26～開始 <u>H29～全ての工事を対象</u>
照査結果検討部会	全ての工事を対象 (工事内容や課題の共有化が必要な工事)
工事・事業情報共有部会	H27～開始 (規模の大きい事業の工事を対象)
設計変更等検討部会	全ての工事を対象

### 第〇条 工事円滑化推進会議

本工事は、円滑な工事施工を図るため、発注者・受注者において以下の会議を開催する。ただし、受注者が開催を希望しない場合に限り、開催しないことを可能とする。

1. 施工条件確認部会
2. 工程調整部会

また、以下の会議について、受注者・発注者のどちらかの発議は問わず、必要に応じて開催できるものとする。

3. 照査結果検討部会
4. 工事・事業情報共有部会
5. 設計変更等検討部会

（※ 一部表示を省略）

## ④ 工事現場における環境改善 ～快適トイレ～

- 国土交通省では、建設現場において男女ともに働きやすい環境とするため、ワーク・ライフ・バランスを推進できる環境整備を進めてきたところです。
- 建設現場においても、女性技術者等に不評であったトイレについて、平成28年10月1日以降に入札手続きを開始する土木工事から「快適トイレ(女性も活用しやすいトイレ)」を原則化することとし、「快適トイレ」の標準仕様を決定しました。
- レンタルが中心の建設現場の仮設トイレが「快適トイレ」に変わることで、災害時に避難所等に持ち込まれる仮設トイレも変わるといった副次的効果も期待しています。

これまでのトイレ



快適トイレ



平成29年度も継続し、原則、  
全ての工事に導入



# ④ 工事現場における環境改善 ～快適トイレ～

- 国土交通省では、建設現場において男女ともに働きやすい環境とするため、ワーク・ライフ・バランスを推進できる環境整備を進めてきたところです。
- 建設現場においても、女性技術者等に不評であったトイレについて、平成28年10月1日以降に入札手続きを開始する土木工事から「快適トイレ(女性も活用しやすいトイレ)」を原則化することとし、「快適トイレ」の標準仕様を決定しました。
- レンタルが中心の建設現場の仮設トイレが「快適トイレ」に変わることで、災害時に避難所等に持ち込まれる仮設トイレも変わるといった副次的効果も期待しています。

## 快適トイレの標準仕様

### 1. トイレに求める機能

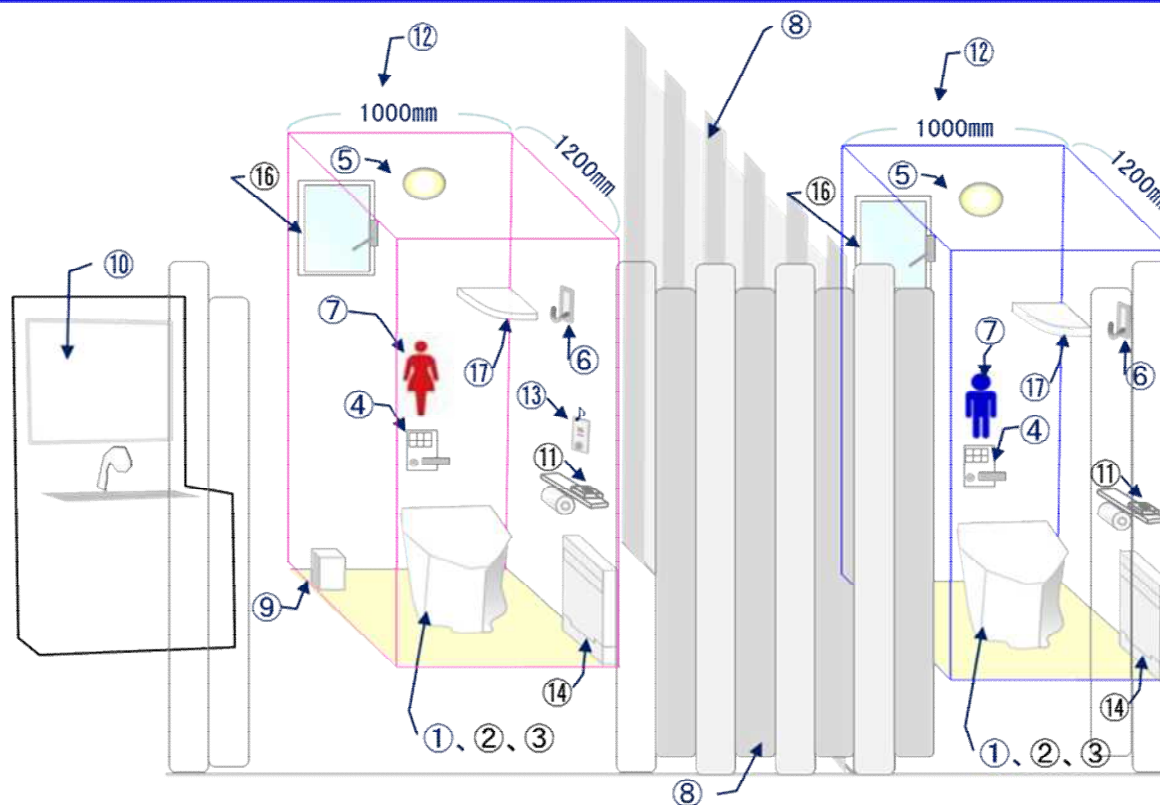
- ① 洋式便座
- ② 水洗機能(簡易水洗、し尿処理装置を含む)
- ③ 臭い逆流防止機能(フラッパー機能)  
(必要に応じて消臭剤等活用し臭い対策を取る  
こと)
- ④ 容易に開かない施錠機能(二重ロック等)  
(二重ロックの備えがなくても容易に開かない  
ことを製造者が説明出来るもの)
- ⑤ 照明設備(電源がなくても良いもの)
- ⑥ 衣類掛け等のフック付、又は、荷物置き場  
設備機能(耐荷重5kg以上)

### 2. 付属品として備えるもの

- ⑦ 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- ⑧ 入口の目隠しの設置(男女別トイレ間も含め入  
口が直接見えないような配置等)
- ⑨ サニタリーボックス(女性専用トイレに限る)
- ⑩ 鏡付きの洗面台
- ⑪ 便座除菌シート等の衛生用品

### 3. 推奨する仕様、付属品

- ⑫ 室内寸法900×900mm以上(半畳程度以上)
- ⑬ 擬音装置
- ⑭ 着替え台(フィッティングボード等)
- ⑮ フラッパー機能の多重化
- ⑯ 窓など室内温度の調整が可能な設備
- ⑰ 小物置き場等(トイレトペーパー予備置き場)



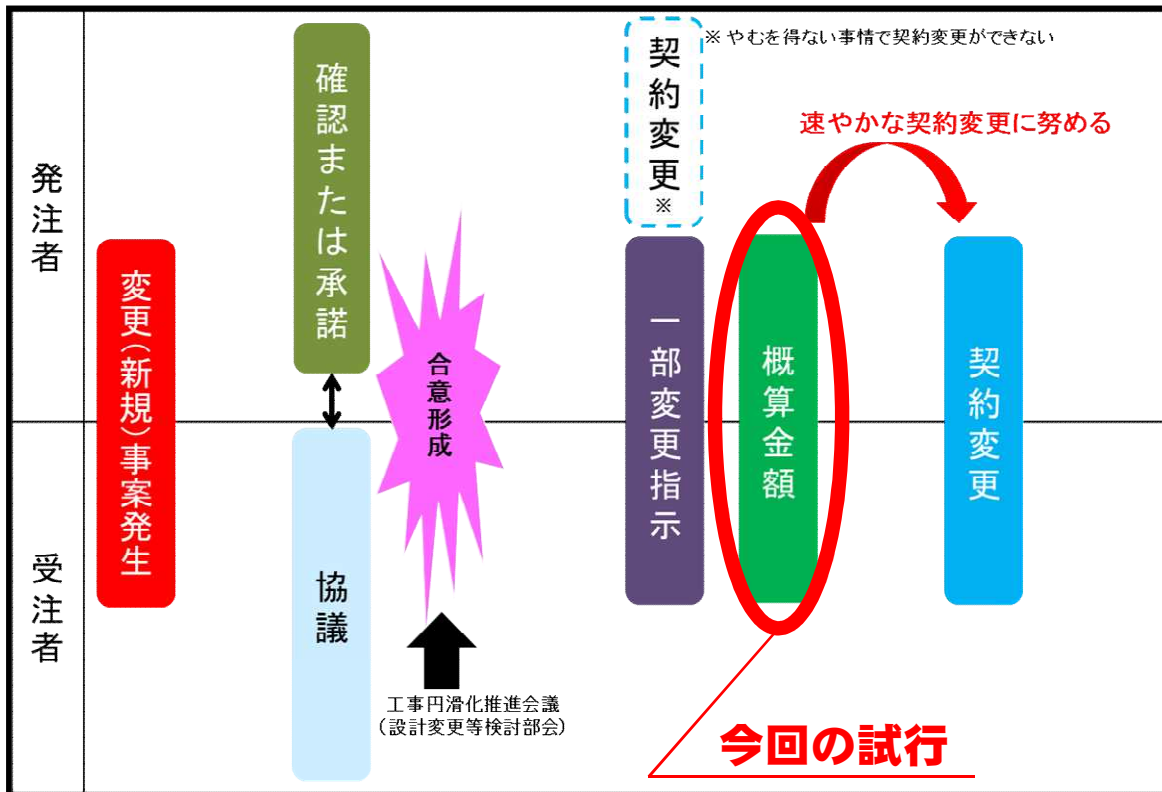
※1及び2の項目は、必ず備えるものとし、3の項目は、無くても良いが、あればより快適に使用出来ると思われるもの  
 ※快適トイレに関する費用は、45,000円/基・月を上限に男女別で設置した場合は、2基まで費用計上します  
 上限を超える費用については、受注者は、積算項目内の「現場環境改善費(率分)」にて計上可能とします

# ⑤一部変更指示時における概算額の明示について（H28.4～試行）

## （背景）

- 平成26年6月の改正品確法において、発注者責務として、適切な設計変更が明確化。
- 施行内容の一部変更指示書（以下「指示書」という）の後、速やかに契約変更されない場合、受注者の適切な下請負契約に支障が生じているものがあると、各種業界団体から意見あり。
- そのため、やむを得ず発出した指示書における新規工種について、概算金額（直接工事費）を明示する取り組みを試行することにより、課題等を明確にし、さらなる設計変更の適切化に努める。

## （具体的な流れ）



## （試行の内容）

- 試行対象は、原則、新規契約案件とするが、発注者発議で既契約工事を対象とすることができる。（1～2件／事務所）
- 指示書を発出する際に、概算金額（直工及び共通仮設費「積上分のみ」）を明示。
- 概算金額を明示するものは、新規工種（官積100%となるもの）とする。
- 試行結果についてフォロー調査を行う。

○ 現在までの実施状況  
試行対象28工事のうち18工事で概算額を明示

## ⑥その 他(お願い事項)

- ・施工体制全国一斉点検
- ・諸経費動向調査

# 施工体制の一斉点検について

国土交通省では、施工体制の点検要領等を定め、各工事を担当する監督職員によって日頃から施工体制の点検を行っているところですが、適正化法(平成13年4月施行)の趣旨の徹底をより一層図るため、平成14年度より毎年工事が本格化する期間に、稼働中の国土交通省直轄工事を対象に「施工体制に関する全国一斉点検」を実施しています。

## ■〈全国一斉点検実施方法〉

### (1)点検時期

工事が本格化する10月から12月を全国一斉点検期間とし、期間内に任意の実施日を定めて実施する。

### (2)点検対象工事

平成28年5月31日以前契約工事では請負金額が2,500万円以上(建築工事においては5,000万円以上)、**平成28年6月1日以降契約工事では請負金額が3,500万円以上(建築工事においては7,000万円以上)**の稼働中の工事の一部について点検を実施(監督体制強化(重点監督)対象工事及び低入札価格調査対象工事を含む)。なお、低入札価格調査対象工事については稼働中の工事(平成28年5月31日以前契約工事では請負額2,500万円(建築工事においては5,000万円)未満を除く、**平成28年6月1日以降契約工事では請負額3,500万円(建築工事においては7,000万円)未満を除く**)の全てを点検対象とする。

### (3)点検内容

〈基本点検〉[1]監理技術者等の配置状況、[2]施工体制台帳等の備え付け状況、[3]下請契約の締結状況

〈一括下請点検〉[1]元請負業者の下請施工の関与状況、[2]紛らわしい施工体系の点検

〈下請業者点検〉[1]下請の主任技術者の配置状況、[2]下請の主任技術者へのヒアリング

## ■平成28年度における点検結果(北陸地方整備局管内)

①建設業法違反により許可部局へ通知が必要となる工事はなし。(平成27年度点検と同様)

②点検実施した工事のうち6工事6件(平成27年度5工事6件)の工事で軽微な改善すべき事項有り

(Ⅰ)基本点検 3工事(平成27年度3工事)

明確な工事内容で下請契約が行われていない等。

(Ⅱ)一括下請に関する点検 3工事(平成27年度3工事)

元請業者が下請施工の品質及び出来形確認を行っていることが一部確認できない等。



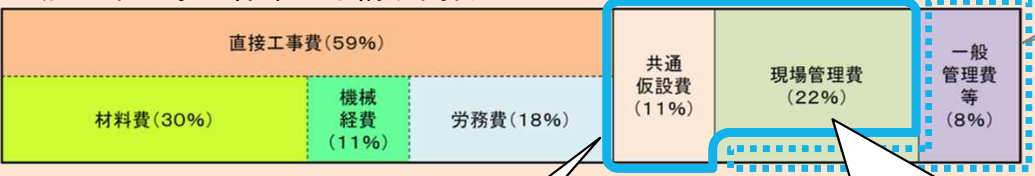


# 諸経費動向調査について

## 調査内容と目的

実際の現場で共通仮設費・現場管理費がどれだけ必要なのかを調べ、積算基準に反映するための調査です。

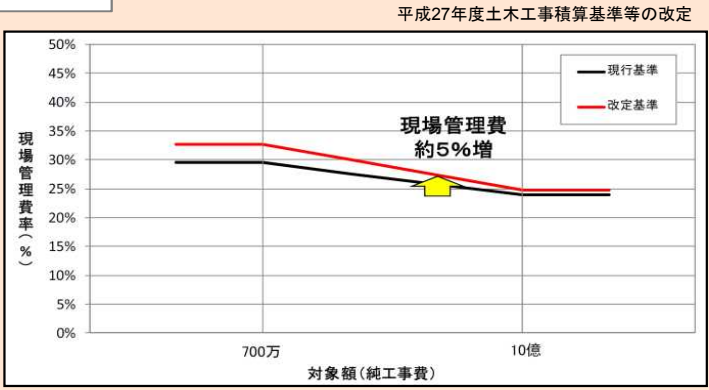
### 一般土木工事の標準的な構成割合



- 運搬費
- 準備費
- 事業損失防止施設費
- 安全費
- 役務費
- 技術管理費
- 営繕費

- 労務管理費
- 安全訓練等に要する費用
- 租税公課
- 保険料
- 従業員給料手当
- 退職金
- 法定福利費
- 福利厚生費
- 事務用品費
- 通信交通費
- 交際費
- 補償費
- (外注経費)
- 工事登録等に要する費用
- 動力・用水光熱費

一般管理費等と外注経費は会社単位で別に調査をします



現行の率式と乖離があれば 間接費の改定を行い、官積に反映する

## 品確法と建設業法・入契法等の一体的改正について (H26.6.4 交付・施行)

改正品確法では「発注者の責務」の1つとして**担い手の育成及び確保**に配慮した予定価格の作成が定められています。本調査は積算基準に施工の実態等を積算に反映し、適正な利潤の確保につなげる重要な調査ですので、事実をありのままに記載をして下さい。

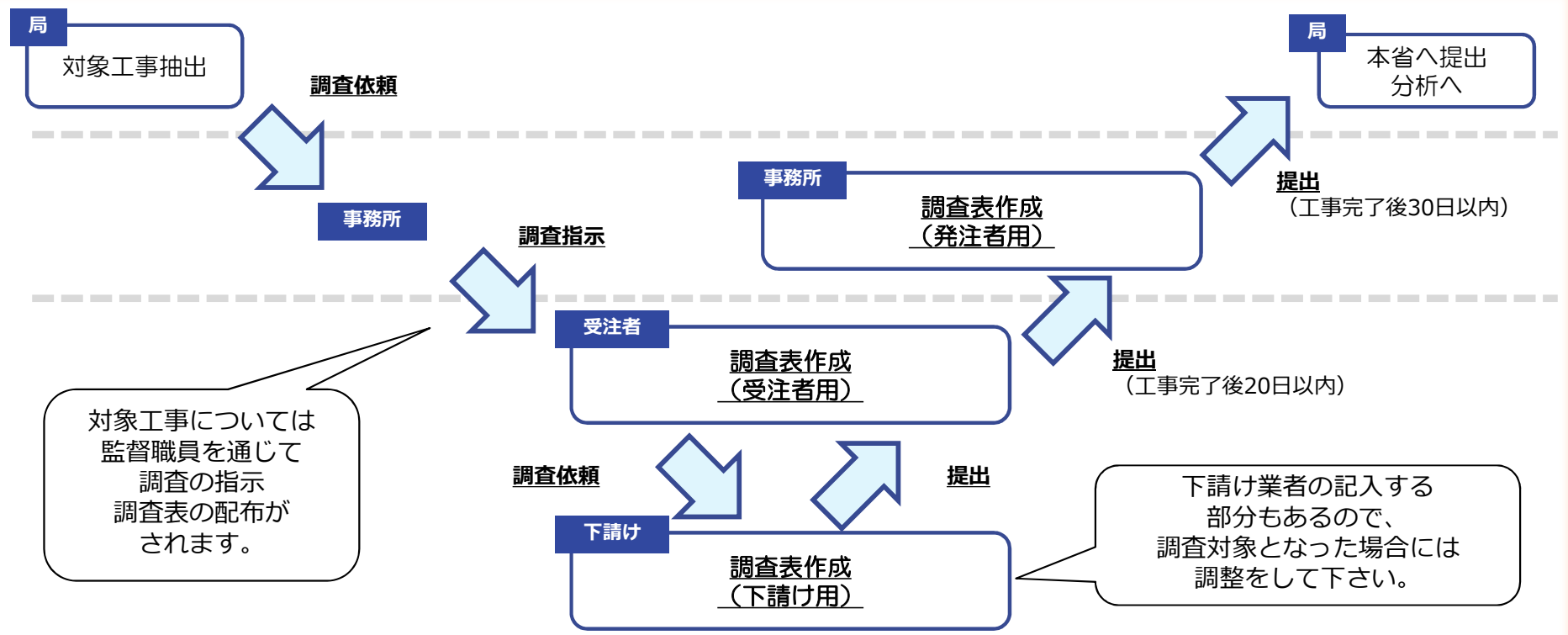
# 諸経費動向調査について

## 調査の対象

調査年度の竣工予定工事を対象とし、

- ① **工種・価格帯ごとに一定数を確保**するように対象工事を抽出しています。
- ② 件数の少ない 海岸・橋梁・トンネル・公園・電線共同溝工事については全工事が対象です。
- ③ 政令指定都市のD I D地区での工事は全工事が対象
- ④ **点在積算・見積活用型積算方式**での工事は全工事が対象

## 調査フロー



# 諸経費動向調査について

## 調査にあたっての注意点

### 調査表への記入

#### 「確認」シート

元請：未入力・エラーの確認			下請：未入力・エラーの確認		
シート名	未入力の件数	エラーの件数	シート名	未入力の件数	エラーの件数
一般事項	0件	0件			
工期	0件	0件			
施工分散	0件	0件			
A-1票	1件	0件	A-①票	0件	0件
A-1'票	0件	0件			

未入力・エラーがないかチェック  
ある場合には修正をお願いします。

#### 「工事費」シート

Ⅲ 工事費内訳		注)消費税抜きで記入してください		金額単位:千円				
費目	元請+ 元請外注	元請	元請外注 合計	1	2	3	4	
① 直接工事費	179,859	65,200	114,659	1,350	330	26,800	1,384	
② 間接工事費	76,412	36,866	39,546	940	370	8,300	1,316	
(1) 共通仮設費	14,665	12,240	2,425	0	0	955	0	
(2) 補償費	0	0	0	0	0	0	0	
(3) 現場管理費	61,747	24,626	37,121	940	370	7,345	1,316	
レ 外注一般管理費等	14,600		14,600	694	146	2,753	441	
(4) 機器間接費	0	0	0	0	0	0	0	
イ 技術者間接費 (電気通信設備工事の場合)	0	0	0	0	0	0	0	
ロ 機器管理費 (電気通信設備工事の場合)	0	0	0	0	0	0	0	
④ 一般管理費等 (電気通信設備工事の場合は、外注一般管理費等の自動計算値)	159,977	159,977	159,977	694	146	2,753	441	
④ 一般管理費等 自動計算値 = -38	-38	-38	-38					
⑤ 銅線等工事製作費 (電気通信設備工事の場合は、機器単体費)	5,767	0	5,767	0	0	0	0	
⑥ 別途調査等工事価格	0	0	0	0	0	0	0	
⑦ 工事価格	262,000	262,000	262,000	2,290	700	35,100	2,700	
⑧ 消費税相当額(下請欄は、下請工事価格の自動計)	20,960	20,960	20,960	2,290	700	35,100	2,700	
⑨ 工事請負金額	282,960	282,960	282,960					

元請の一般管理費等  
下請の外注一般管理費等をチェック

契約額と調査表に記入された各項目の費用との差額が表示されています。

極端に大きい・極端に小さい：  
二重計上や計上漏れ、  
桁間違い、千円単位になっていない

間違いがないか確認をお願いします。

## 提出後

提出後、発注者用調査表（官積算額）との比較をして、必要に応じて聞き取り調査が行われます。  
開きがある場合、入力ミスはないか なにか理由があるか等が確認されます。

確認結果の例)

- |         |                                      |
|---------|--------------------------------------|
| ・ 共通仮設費 | 路上工事の日々回送で輸送費がかかった<br>安全施設の費用が多くかかった |
| ・ 現場管理費 | 工期延伸で従業員給料・手当がかさんだ                   |
| ・ 材料費   | 安価購入ができた                             |
| ・ 労務費   | 施工環境が良く、効率よく作業できた                    |

## 調査表への記入について不明な事がある

調査表には入カマニュアルも添付されています。  
不明な点があれば確認をしてみてください。

それでも不明な事があれば

北陸地方整備局 企画部 技術管理課

（電話：025-370-6702 F A X：025-280-8861）までお問い合わせ下さい。

ご不明な点があれば  
お問合せください

